

③

②

①

第12回さいたま子ども短歌賞応募票  
※三首まで応募できますが、入賞は一人二首です。

短歌の基本は「五七五七七」だけど  
「字めまり」「字たらず」でも大丈夫。大きな字ではっきり書いてね!!

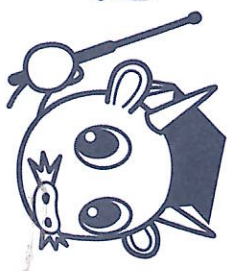

■ 学校名、学年、組

学校名	学年	組
さいたま市立		
上里小		
学校		

■ 氏名(ふりがな)

(ふりがな)
氏名

※この応募票は A4 サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。



# 3つのステップで短歌を詠んでみよう！

## ？短歌ってどんなもの？

こころ うご けしき できごと  
心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。

れい こえ た よ  
【例：声に出して読んでみよう】

さむいねい と 話しかければ さむいねい と 答える人の いるあたたかさ (儀 万智)

5文字

7文字

5文字

7文字

7文字

## STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。  
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

### テーマの例

- ・ 学校のできごと
- ・ 家族、友達
- ・ 好きなスポーツ
- ・ 行ってみたい場所
- ・ 夏休みの思い出
- ・ 将来の夢
- ・ 動物、植物
- ・ 景色、風景

## STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。  
このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉がたくさん書こう。

## STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせて、「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。  
でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り (文字数が多いこと) ・ 字足らず (文字数が少ないこと) でも大丈夫！  
伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

## 上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩 (たとえる) **例**：「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め (最後が名詞で終わる) **例**：「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句 (同じ構成の語を並べる) **例**：おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語 (音や様子を表す) **例**：わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け (あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ)